

# 土間と縁側による空き家リノベーション設計

## －あたらしいすまい(設計編)－

まちづくり研究室 1170156 向井陽菜

### 1. 設計の背景

現在のケンチク・タテモノを成立させた社会的な動きは共通している。それは近代化だ。これにより、有り余るほどの建物が建てられ今では空き家問題が発生するまでになっている。これからは箱を作ることよりも有り余った空間資源(空き家)を新たな暮らしや仕事の場へと仕立てることが次なる目標であると考えた。空き家問題は私の地元である尾道市御調町でも起こっている。このことから御調町の空き家を例にリノベーション設計を行う。設計するにあたり、共同研究者片岡茉莉の「あたらしいすまい」の方向性をもとに設計を行う。

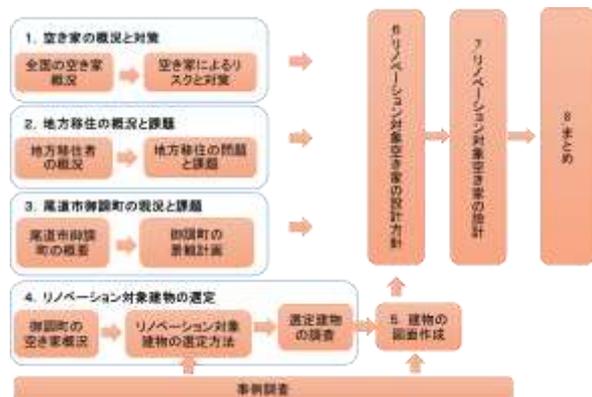
### 2. 設計の目的

本研究では、空き家リノベーション設計において土間と縁側を取り入れた「あたらしいすまい」の提案を行う。

### 3. 設計の構成

- ① 空き家の現況調査
- ② 地方移住の現況調査
- ③ 尾道市・御調町の概要・現況調査
- ④ リノベーション建物の選定
- ⑤ 選定空き家の現況調査
- ⑥ リノベーション対象空き家の設計方針の決定
- ⑦ リノベーション対象空き家の設計
- ⑧ まとめ

図1 研究の構成



### 4. リノベーション対象空き家の設計コンセプトとサブコンセプト

設計する上で片岡茉莉のあたらしいすまいのコンセプトに基づき設計コンセプト、サブコンセプトを設定した。

#### 4.1 あたらしいすまいのコンセプト

- 1) 集まって住むって楽しいな
- 2) レトロフューチャーな住宅づくり
- 3) まちの縁側づくり

#### 4.2 設計のコンセプト

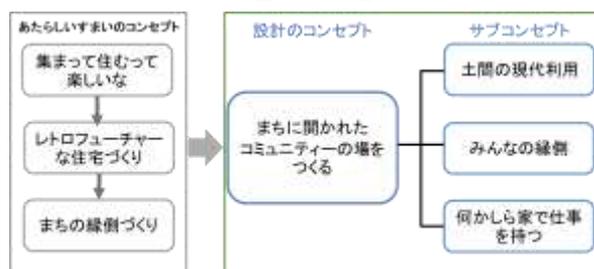
##### (1) コンセプト

まちに開かれたコミュニティの場をつくる。

##### (2) サブコンセプト

- 1) 土間の現代利用
- 2) みんなの縁側
- 3) 何かしら家に仕事を持つ

図2. コンセプト



### 5. 空き家リノベーション設計

#### 5.1 空き家 A

##### (1) 住まい手家族構成



父 34歳 職：農業  
母 32歳 職：柿渋の染物・物づくり体験教室  
娘 8歳  
息子 4歳

##### <住まい方>

・田舎暮らしを求め移住。農業をしながら悠々自適な生活を送る。

・お父さんが主に農業をし、季節によってさまざまな野菜を育てる。また御調町の特産品である柿を育てる。

・お母さんは元々染物や、小物作りを趣味にしており、育てた柿で柿渋を使った染物をしたり、自然にあるもので小物を作る体験教室を開く。

##### (2) コンセプト

「農を営み縁側を楽しむ」

- ・日本の昔ながらの家の良さを引き出す。
- ・農業という仕事と暮らしが混在した家とする。
- ・季節の変化によって縁側に彩を与える。
- ・田の字型を残し、暮らしを限定しない自由な空間をまたせる。

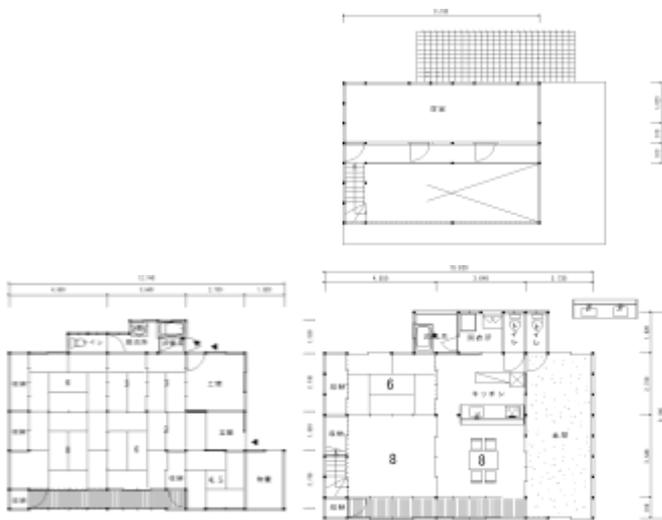
### (3) 平面図

- ・北から南への広い通り抜け土間を設けた。
- ・縁側はコミュニティーの場として残した。
- ・田の字型は保持し空間を自由に使える空間とした。
- ・屋根裏部屋をつくり寝室とする。そこを寝室にすることでプライバシーを守る。
- ・農業を手伝いに来た人たちが土足のまま入れるトイレを設けた。
- ・敷地入口を広く整備し、車が入れるようにした。

before

図3. 平面図

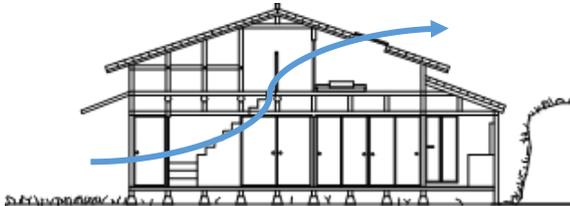
after



### (4) 断面図

- ・屋根に天窓を付ける事で風の通りを良くし、光を部屋の置くまで入るようにした。

図4. 立面図



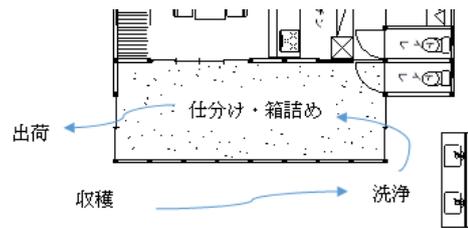
### (5) 土間と縁側の利用

#### 1) 土間の現代利用

- ・土間は人を迎入れる玄関であり、農作業をする仕事の間であり、子供の遊び場であり、安らぎの間でもある。家族、訪問者がさまざまに使う空間であるからこそコミュニティーが生まれる。
- ・通り土間にすることで、農作業に流れをつくった。
- ・暗かった土間に天窓をつけ、明るい空間とした。

- ・汚れを気にしなくていい土間には、薪ストーブを置き、自然の力で家を暖める。

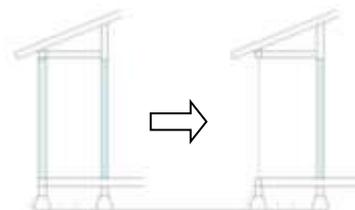
図5. 土間の利用



#### 2) 縁側

- ・縁側の外と内を仕切った外扉を取りはずし、昔の雨戸のみとし、内側空間として強まっていた縁側を外に開放した。
- ・縁側は農作業の合間に休憩をしたり、近所の人と座って世間話をしたりと、コミュニティーの場となる。
- ・日当たりの良い縁側は育てた大根を切り干し大根にしたり、柿を干し柿にしたりと季節によってさまざまに変化する。

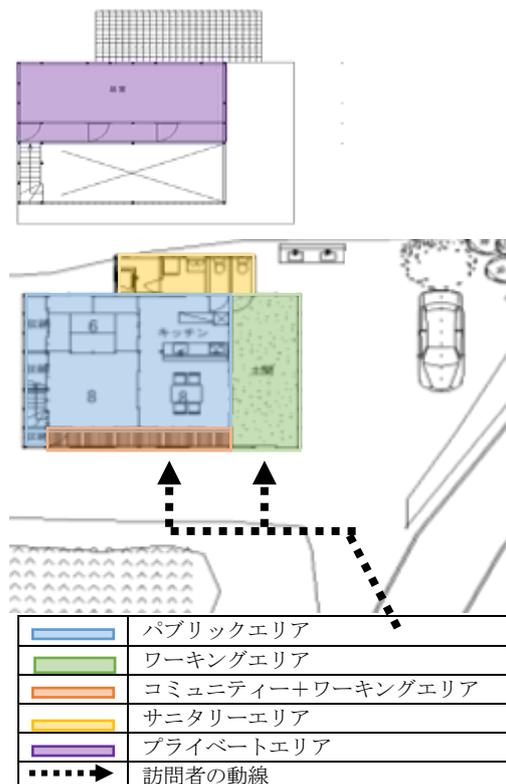
図6. 縁側



#### (6) ゾーニング

- ・敷地入口の南側を玄関入口と縁側にした。

図7. ゾーニング



(7)各部分でのイメージ

写真1



写真2



写真3



(3)平面図

- ・道路側に広い土間を設けた。
- ・土間の道路側は折りたたみのガラス扉、開き戸、上げ下ろし窓で土間の使い方によって使い分ける。
- ・土間の上げ下ろし扉部分に椅子机を設置。
- ・1階は階段の位置を変えず仕切りのない空間とした。
- ・土間を広く設けた分リビングを広く増設した。ガラス張りにし、外と内につながりを持たせた。
- ・2階のベランダは2部屋共同のベランダにした。土間から出てきたときの雨よけとしての役割も持たせる。
- ・敷地を区切る塀を取り除いた。

図8. 平面図



5.2 空き家B

(1)住まい手家族構成



父 31歳 職 支所 (まちづくり関係)  
 母 31歳 職 webデザイナー・駄菓子屋  
 息子6歳

<住まい方>

- ・お父さんは支所でまちづくり関係のお仕事をしている。仕事仲間を度々家に呼ぶ。
- ・まちづくりの仕事をしているので、家でちょっとしたイベントなどを開催する。
- ・アウトドア派な夫婦は家でよくBBQをする。
- ・お母さんは子供好きで駄菓子屋さんを始める。たくさんの子供たち、またその親がお菓子を買いにやってくる。
- ・趣味でラベンダーを育て、香り袋などを作る。野菜も少し育てる。
- ・息子は地元のソフトボールクラブに所属する。

(2)コンセプト

「まちにひらかれる家」

- ・まちの中心地に位置するこの家はまちの人たちが何気なく集まったり、楽しめるような、開かれた家とする。
- ・たくさんの人が集まれる広い空間と、暮らしを限定しない自由な空間をもたせる。

(4)土間の利用

- ・駄菓子屋やwebデザイナーの職場として
- ・父の会社の人たちと会議をする集まりの場として
- ・地域の仲間たちとBBQなど遊びの場として
- ・まちの人たちが訪れる小さなイベント会場として

写真4



写真5



### (5) ゾーニング

- ・道路側に人が集まれる空間を設計した。
- ・南側は趣味のラベンダー畑を作った。

図9. ゾーニング



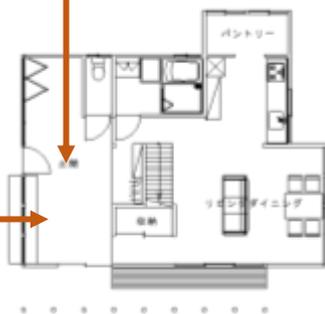
	パブリックエリア
	コミュニティー+ワーキングエリア
	サニタリーエリア
	プライベートエリア
	訪問者の動線

### (6) 各部分でのイメージ (写真、図)

写真6



写真7



## 6. まとめ (成果と課題)

### 6.1 成果

#### (1) 土間の現代利用

・空き家Aでは北側にあった暗い家事をするだけの土間をさまざまに使える空間として広くとった。天窗を付ける事で明るい空間とした。近所の人と協力して農作業を行ったり、子供の遊び場となる。作業を行っている人が気軽にトイレをえるよう土間に土足用のトイレを設置した。

・空き家Bでは土間を広く設け、土間をまちの人たちが集まれる場とした。小学生の帰宅時には駄菓子屋さんとなり、夜には会社の人との会議場、呑み場となり、休日には近所の人とBBQをする場、イベント会場となる。

#### (2) みんなの縁側

・空き家Aでは元々あった縁側をそのまま残し、農業を手伝いに来た人、訪問者と気軽に話せる空間とした。縁側の外側がガラス扉だったものを昔ながらの雨戸のみにし、縁側を外空間にすることで誰でも気兼ねなく使える空間とした。

・空き家Bでは縁側を直接設けるのではなく土間に縁側の役割を持たせることでまちの縁側とした。道路側に土間を設け、ガラス扉にすることで開かれた空間へと設計した。ガラス扉を開放すると外のような内のような空間となり、駄菓子屋、イベントをする際に皆が訪れやすい家とした。

#### (3) 何かしら家で仕事をもつ

・空き家Aでは農業をする。近所の人と作業をしたり、野菜をおすそ分けすることで人とのコミュニティが生まれた。

・空き家Bでは駄菓子屋をする。学校帰りの小学生の楽しみの場であり、親子でも訪れれるまちの集いの場となった。

#### (4) 全体の成果

これからのあたらしい住まいは人が触れ合う時間を大切にできる空間を設けることが必要であり、本設計ではそれらの空間を設計することができた。

### 6.2 課題

新しい住まいの提案をしたがそこに移住してくる人、住む人が何かしら家に仕事を持つこと、そしてまち空間で自ら生き生き暮らす構想力を持つことも必要である。

#### 《参考引用文献》

- 写真1 秋の縁側  
[http://ganref.jp/m/kiyo0414/portfolios/photo\\_detail](http://ganref.jp/m/kiyo0414/portfolios/photo_detail)  
 写真2 140年の古民家リノベーション実例  
<http://post.housing-komachi.jp>  
 写真3 土間  
<http://media-cache-ec0.pining.com>  
 写真4 駄菓子屋  
<http://yaplog.jp>  
 写真5 ログハウス BESS  
<https://www.bess.jp>  
 写真6 芝屋根住宅 mat house  
<https://suvaco.jp/doc/doma-150106>  
 写真7 This new coffee shop <http://www.contemporist.com>